

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告(1/8ページ)

種目(教科等)【道徳科】平成30年7月10日

項目	教科書名(新しい道徳) 会社名(東京書籍)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p><道徳的諸価値について理解を深めていくようにする工夫> ○教材冒頭に、学習の主題名を掲載している。教材末に、自分とのかかわりで、考えを深められる振り返りの問いを掲載している。</p> <p><人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫> ○巻頭にオリエンテーションと「1年間で学ぶこと」のページがあり、生徒が問題意識と見通しをもって、自己を見つめられるよう示している。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○各教材に感じたことを自由に書ける「つぶやき」欄や学期毎の学習の振り返り記録欄があり、生徒自らが自分の成長を実感できる工夫をしている。</p>
特色	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「いじめ問題」を重点項目として、全学年に取り入れている。3つの教材を組み合わせた「ユニット形式」となっている。</p> <p>○各学年にSNSを題材にした教材を掲載し、情報モラルについて多面的・多角的に考えられるよう工夫している。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○「生命尊重」を重点項目として、「ユニット形式」の教材を全学年に取り入れている。3年生は生命倫理に関する教材も掲載されている。</p> <p>○1年生は小学校の教材を掲載し、小中連携が図られている。また、その先のキャリアを見据えた教材を掲載し自己の将来を深く考えられるようにしている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習に関して、親しみやすい教材をもとに、教科書に書き込みながら話し合えるようになっている。</p> <p>○巻末の心情円やホワイトボードを利用しながら、生徒同士がコミュニケーションをとれるよう工夫されている。</p> <p><授業者が学習目標達成のために活用できる資料内容とその特徴> ○親しみやすい生徒作文が掲載されている。書き込み欄や話し合いの手引きをもとに話し合いを深める工夫がされている。</p>
	<p>資料</p> <p>○年間行事や体験活動の時期を考慮した教材配置をしている。</p> <p>○教材の冒頭で各教科との関連を示し、各教科との関連を図っている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○教材ごとに学習指導要領の四つの視点をマークで示している。目次は四つの視点をマークと色で示し、索引は四つの視点と内容項目ごとに分類して示している。</p> <p>○文字はUDフォントを使用し、見やすさに配慮している。また、固有名詞には振り仮名を付し、難解な語句は脚注で説明している。</p>
総括	<p>○教材ごとに学習の主題名や四つの視点を明示している。「つぶやき」では感想を書き込めるようになっている。教材タイトルと教材末の「考えてみよう」では道徳的価値について考えられるような問いがある。年間行事や体験活動の時期を考慮した教材配置をしている。漫画やイラストが多く掲載されている。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（2 / 8 ページ）

種目(教科等)【道徳科】平成 30 年 7 月 10 日

項 目	教科書名(輝け 未来)	会社名(学校図書)
教育基本法、 学校教育法の下、 学習指導要領の教科の 目標とのかかわり	<p><道徳的諸価値について理解を深めていくようにする工夫> ○教材の冒頭に内容項目と主題、さらに、「学びに向かうために」に掲載されている発問以外に考えさせたい10のポイントがマークとなって明示されている。</p> <p><人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫> ○22の内容項目すべてを網羅した「心の扉」のページが設定され、自分の経験や考えを記入できるようになっており、自らの考えを深められるようにしている。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○教材ごとに、学習内容と自分が考えたこと、他者の意見を記録するページが設定されている。また、1年間を通しての振り返りもできるようになっている。</p>	
特 色	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「いじめを許さない」という直接教材と、「いじめを起こさない」という間接教材で「いじめ防止」について深く考えられるようにしている。</p> <p>○「学びに向かうために」には授業の展開に沿った発問が掲載されており、特に「考えよう」は「課題発見」と「考えを深める」の2種類に分けられている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○学校行事や部活動など、生徒の日常生活と関連付けながら道徳的価値を考える教材が多く掲載されている。</p> <p>○保護者に向けてのページや家庭で共有して欲しい教材の掲載など、家庭教育の視点をもった構成となっている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○「考えること」「議論すること」「自分を振り返り、考えること」が明確に示されており、自分の見方や考え方を深められるようになっている。</p> <p>○「問題解決的な学習」や役割演技などの「体験的な学習」、「自我関与」など、様々な要素を組み合わせた学習展開が設定されている。</p> <p><授業者が学習目標達成のために活用できる資料内容とその特徴> ○日本全国の様々な地域の題材や偉人などを扱った教材が、内容項目を問わず、複数取り上げられている。</p>	
資 料	<p>○多彩な画風のイラストや写真、図などが大きく掲載されている。</p> <p>○新聞記事や漫画など、様々な種類の教材、資料が掲載されている。</p>	
表 記・ 表 現	<p>○人名や地名などの固有名詞にはすべて振り仮名がつけられており、難解な語句は脚注で解説がされている。</p> <p>○教材ごとに四つの視点を色分けして示し、考えさせたいポイントはマークで教材の冒頭に示されている。</p>	
総 括	<p>○発達の段階に応じた導入のページや、目的を明確にした発問など、生徒が自然と「考え、議論」できるような工夫がされている。学習の振り返りが教材ごとや学期ごとに行えるようになっている。行事や部活、家庭との連携が意識されている教材に加え、我が国の伝統文化や郷土に触れられる教材も複数取り上げられている。</p>	

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（3 / 8ページ）

種目(教科等)【道徳科】平成30年7月10日

項 目	教科書名(中学道徳 とびだそう未来へ) 会社名(教育出版)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p><道徳的諸価値について理解を深めていくようにする工夫> ○最初に教材を通して何を考えるかの意識付けの問い、最後に道徳的諸価値に関わる考えを深めるための問いが掲載されている。</p> <p><人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫> ○異なる立場からの考えを取り上げたり、状況に応じて判断する場面を扱ったりする教材を通して多面的・多角的に考えることができる。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○学期ごとに学びの記録を記すページがあり、自分自身の学びを振り返って、自分の成長を実感できるようになっている。</p>
特 色 内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○いじめについての教材は特定の指導期間に集中しないよう、バランスよく配置されている。学期をまたいで繰り返し考え学びを深めていけるようになっている。</p> <p>○全学年で、生命倫理などのテーマについて多面的に考えることができる教材を用いて、よりよい選択・判断をする力を育てるようになっている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○いじめについては、繰り返し学習できるよう、3年間を通して体系的に掲載している。</p> <p>○全学年で、道を切り拓いてきた人々の生き方や考え方を学ぶことを通して、自らを高めていこうとする意欲を育てる。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○教材の最初に問いを設けることで、学習の方向を学級全員で共有し、対話的な授業を作り上げることができる。</p> <p>○「学びの道しるべ」を活用してみんなで話し合い、「やってみよう」のロールプレイで体験的に学習ができるようになっている。</p> <p><授業者が学習目標達成のために活用できる資料内容とその特徴> ○内容項目が3年間を通してバランスをとって配置されている。1年生では自分自身、2・3年生では人や社会との関わりに力点を置いている。</p>
資 料	<p>○教材の場面にあった大小様々な写真、漫画形式の資料などを掲載している。</p> <p>○著名人、スポーツ選手、都道府県にゆかりのある人物を扱った教材がある。</p>
表 記・表 現	<p>○内容項目ごとに色分けされている。また、グラフ・地図なども色覚特性を踏まえて、判別しやすい配色、表現方法になっている。</p> <p>○文章の改行位置が工夫され、内容の理解がしやすい。右ページ始まりで見渡しやすく、読みやすい紙面構成になっている。</p>
総 括	<p>○「考え、議論する道徳」の実現に向けて、導入や最後の問いに工夫がみられ、現代の課題である、いじめ・生命倫理・情報モラル・社会参画についても取り扱っている。シンプルなつくりでわかりやすく、表記についても誰にでも使いやすい配色・構成などの工夫がある。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（4 / 8 ページ）

種目(教科等)【道徳科】平成30年7月10日

項 目	教科書名(中学道徳 きみがいちばんひかるとき) 会社名(光村図書)	
教育基本法、 学校教育法の下、 学習指導要領の教科の目標と のかかわり	<p><道徳的諸価値について理解を深めていくようにする工夫></p> <p>○各教材の手引きの「つなげよう」で、道徳の授業で終わってしまうのではなく、自分の生活と結びつけて考えられるように工夫されている。</p> <p><人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫></p> <p>○巻末に教材と現代的な課題や他教科、領域との関わりが示され、多面的に思考できるよう工夫されている。</p> <p><道徳性を育成するための工夫></p> <p>○各教材末にある「学びのテーマ」が設置されており、道徳性の育成を図る工夫がされており、「私の気づき」でさらに成長を実感できるようにしている。</p>	
特 色	内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○コラムで、ユニバーサルデザイン、いじめ、情報モラルを取り上げ、その解決に向けてロールプレイや対話ができるような仕組みになっている。</p> <p>○身近な話題について取り上げ、複数の人の立場の意見が書かれていることで多面的に考えられるようになっている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○学校生活の実態と生徒の成長を考慮して、4つのシーズンに分け、さらにシーズン中にはユニットが設けられている。</p> <p>○「学びのテーマ」に迫るために3つの考える観点（発問）が設定され、道徳的価値を深く考えることができるようになっている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○複数の時間で扱う教材を設け、教材で考えた道徳的価値を実際の活動で確かめたり、葛藤する教材で考えたりすることで、より実践的な思考を促している。</p> <p>○学び直しの教材が用意されており、中学生に成長した今の考えを改めて語り合うことで生徒たちの深い学びにつなげている。</p> <p><授業者が学習目標達成のために活用できる資料内容とその特徴></p> <p>○各教材に視点の印、シーズンの色、教材番号とねらいとなる内容項目（主題）が明示されているので、見通しをもった学習が促される。</p>
	資 料	<p>○定番の教材、著名人を扱った教材、現代の問題を扱った教材がある。</p> <p>○生徒が親しみやすい写真や挿絵、漫画形式の資料が用意されている。</p>
	表記・表現	<p>○冒頭と末尾に「どう学ぶか」「なぜ学ぶか」がわかりやすく見えるようにしてあり、内容項目ごとの一覧がついている。</p> <p>○教材名の右上に内容項目があり、何を学習するのかははっきりしており、用語の解説は少なく本文に集中して考えることができる。</p>
総 括	<p>○「学びのテーマ」のページが教材ごとに掲載されており、それに従って、考えさせ気づいた点を記入すれば授業の流れができるようになっている。また、教材ごとに内容項目が明示してあり見通しをもった学習が促される。「COLU、MN」には、体験的な活動を提示している。</p>	

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（5 / 8 ページ）

種目(教科等)【道徳科】平成30年7月10日

項目	教科書名(中学道徳 あすを生きる) 会社名(日本文教出版)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p><道徳的諸価値について理解を深めていくようにする工夫> ○各教材の冒頭に主題名が明示されており、生徒が道徳的価値と関連づけて学ぶことができ、主体的な学びを充実させるための工夫がされている。</p> <p><人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫> ○「学習の進め方」を示すページがあり、学習の流れが見えるようなテーマ設定(導入・あらすじ・ねらいに迫る発問等のねらい)が明確である。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○教科書と「道徳ノート」との併用により、記録として残すことのできるため、生徒自らが振り返り、自身の変容や成長を感じられるような内容になっている。</p>
特色	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「いじめ問題」への取組に重点が置かれている。問題意識をもって多面的・多角的に考えさせる場面が学校行事等の時期に応じて設定されている。</p> <p>○「いじめ」防止ユニットの基本構成が有り、いじめを直接的に扱った内容といじめを間接的に扱った内容があり、より身近に感じられる内容となっている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○中学校3年間の系統性と発展性を考慮して作られておりキャリア教育の理念をもとに各学年のテーマが設定されている。さらに高校へ繋げようとしている。</p> <p>○生徒の成長に合う題材を扱うような工夫がされており、発達の段階に合わせた教材の選定を意識している。また小中連携への配慮もなされている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○各題材の終わりに「考えてみよう」「自分にプラス1」の項目があり「考え・議論する」ための発問が提示され終末に生徒の変容を促す工夫がされている。</p> <p>○題材に応じて、より深く楽しく身近に考え合えるように「問題解決的な学習」と「体験的な学習」の発問例があり、問題を深め議論する工夫がされている。</p> <p><授業者が学習目標達成のために活用できる資料内容とその特徴> ○学級の状態や様子によって、場面に応じた内容が設定されている。「学習の進め方」の項目があり、授業の展開がイメージしやすいように組まれている。</p>
	<p>資料</p> <p>○大きな写真、アニメ風のイラストや漢字の振り仮名があり、読みやすい。 ○「道徳ノート」には学習内容が書き込めるので学習を振り返ることができる。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○教材ごとに学習指導要領の四つの視点を色で示している。目次は四つの視点を色で示し、索引は四つの視点と内容項目毎に分類している。 ○ユニバーサルデザインに対応したUDフォントを使用、中学校で学習する全ての漢字に振り仮名を付けるなど、特別支援教育に関する配慮がされている。</p>
総括	<p>○教科書本冊と教科書と同様の学習内容の道徳ノートの2冊で構成され、学習内容が書き込め、生徒自身の振り返りができる。指導や評価の参考になると共に保護者欄を設けることで家庭との連携を取ることができる。「学習の進め方」の項目があり、授業の展開がイメージしやすいように組まれている。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（6 / 8 ページ）

種目(教科等)【道徳科】平成 30 年 7 月 10 日

項 目	教科書名(中学生の道徳 明日への扉) 会社名(学研教育みらい)
教育基本法、 学校教育法の下、 学習指導要領の教科の目標と のかかわり	<p><道徳的諸価値について理解を深めていくようにする工夫> ○生徒の問題意識を引き出す内容になっている。そのために、主題名を表示せず、特定の価値観の押しつけにならないようにしている。</p> <p><人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫> ○授業の学び方を紹介するページがあり、生き方への考えを深められるように、授業の流れが提示されている。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○教材の終わりに生徒が考えを深め、自己を見つめるきっかけとなる問いの例などがあり、自己を振り返る構成になっている。</p>
特色	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「いじめ防止」と「いのちの教育」を重点テーマとし、「生命の尊さ」を多面的・多角的に考えられるようになっている。</p> <p>○現代的な課題としてあげられる「情報モラル」、「キャリア教育」、「共生」への取組が充実している。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○「いじめ防止」と「いのちの教育」を重点テーマとし、「生命の尊さ」の項目を各学年に3教材掲載し、系統的に学習できるようにしている。</p> <p>○「地球と地域の未来のために」「スポーツの世界で共に輝く」の観点で、ユニット教材を用意し、複数の授業時間を関連させて考えられるようになっている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○3種類の特設ページがあり、「深めよう」のページでは考えを整理したり、話し合ったり、対話を演じたりできるようになっている。</p> <p>○「クローズアップ」では生きるうえでの考え方や選択肢を増やし、「クローズアッププラス」では内容項目の異なる関連情報が用いられ、視野が広がるようになっている。</p> <p><授業者が学習目標達成のために活用できる資料内容とその特徴> ○教科書に主題の表示がなく、特定の価値観の押しつけにならないが、四つの視点が色分けされていて、扱いやすくなっている。</p> <p>資料</p> <p>○A4判で図やグラフが見やすくなっていて、写真も大きく取り上げられている。</p> <p>○様々な分野で活躍する人や先人達の生き方を取り上げた教材がある。</p> <p>表記・表現</p> <p>○目次は四つの視点を色分けされている。また、四つの視点ごとに教材が分かれているページもある。</p> <p>○効果的な学びのために使いやすさが追求されており、すべての教材が見開きで始まっている。</p>
総括	<p>○生徒が自ら問題意識をもち、あえて主題名を表示しないことで主体的に課題を発見し、解決する能力を高められるようになっている。特設ページが多く話し合いや記述などの言語活動を通して、自己を見つめ、その生き方について考えを深められるようにしている。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（7 / 8 ページ）

種目(教科等)【道徳科】平成30年7月10日

項 目	教科書名(中学生の道徳)	会社名(廣濟堂あかつき)
教育基本法、 学校教育法の下、 学習指導要領の教科の 目標とのかかわり	<p><道徳的諸価値について理解を深めていくようにする工夫> ○本冊・別冊道徳ノートが2冊構成となっている。教材ごとに「考える・話し合う」が設定され、話し合いのきっかけとして授業で活用できる問いが書かれている。</p> <p><人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫> ○巻頭に「道徳の時間とは」が設定され、道徳の時間で何をどのように学ぶのかが示されている。また、道徳ノートの活用により考えを深める工夫をしている。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○本冊にある「考える・話し合う」の問いにより、多面的な見方を示したり、問題解決的な学習ができたりするようになっている。</p>	
特 色	内 容	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「生命の尊重」を重点とし、「いじめ防止」について充実した学習が図れるように教材が取り上げられている。</p> <p>○急激な社会の変化に伴い生じている現代的な課題について、生徒が身近な問題として捉え、自分とのかかわりで考えられる教材を多く掲載している。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○人権・いじめに関わる問題、情報モラルに関わる問題を発達の段階に応じてさまざまな角度から考えられるように工夫されている。</p> <p>○先人の伝記や様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手の実話が掲載され、人間として生きることのすばらしさを感じ取れるようになっている。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○別冊道徳ノートに「話し合い活動の記録」や自分と向き合って思いを書けるスペースなどが設けられている。</p> <p>○役割演技や動作化など、道徳的行為に関する体験的な学習を通して、道徳的価値について深く考えられる教材を掲載している。</p> <p><授業者が学習目標達成のために活用できる資料内容とその特徴> ○4つの視点を色分けして掲載し、別冊道徳ノートでは内容項目別に自分自身を振り返り、「心のしおり」として心の内側の面と外側の面でみつめられるようになっている。</p>
	資 料	<p>○別冊ノートに教材に合わせた内容の詩やグラフ、名言などが紹介されている。</p> <p>○著名人、スポーツ選手を扱った教材がある。</p>
	表 記・表 現	<p>○教材ごとに四つの視点を色分けして示している。必要な情報や難しい言葉は脚注で解説されている。</p> <p>○大きく見やすいA B判を使用し、発達の段階に応じて文字サイズや文章の分量、イラストの配置に工夫が見られる。</p>
総 括	<p>○本冊・別冊道徳ノートの2冊構成になっていて、教材ごとに「考える・話し合う」が設定され、学習の見通しをもち、主体的に学べるように工夫されている。道徳ノートで学習の評価をし、振り返ることができるようにしている。そのことで、自己理解を深め、心の成長を実感することができるようになっている。</p>	

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告(8/8ページ)

種目(教科等)【道徳科】平成30年7月10日

項 目	教科書名(道徳 中学校) 会社名(日本教科書)
教育基本法、 学校教育法の下、 学習指導要領の教科の目標と のかかわり	<p><道徳的諸価値について理解を深めていくようにする工夫> ○学習指導要領の内容項目順に教材を配置し、教材のタイトル部分の番号が内容項目番号と対応しており、道徳的価値が明確になった教材が用意されている。</p> <p><人間としての生き方への考えを深めていくことができるようにする工夫> ○巻頭にオリエンテーションのページがあり、生徒が自分の考えをもって取り組み、自己をみつめるように示している。</p> <p><道徳性を育成するための工夫> ○自分を見つめ、書き込みをさせる学習活動や年度末に活動の振り返りを書かせることで、生徒が自ら成長を実感できるよう工夫している。</p>
特 色	<p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○いじめ問題を直接的・間接的に生徒自身の問題として捉えられるような教材を選定している。</p> <p>○「LGBT」、「口蹄疫」、「割れ窓理論」、「発酵食品」というような幅広い社会的な題材を通して、視野の広い活動ができるようになっている。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫> ○「いのち」について、1年生では「つながり」、3年生では「臓器移植」を題材に「生命の尊さ」に触れた後多角的多面的に思考する教材を配置している。</p> <p>○「理解」「啓発」「実現」という具合に、発達の段階に考慮しながら情報モラルやキャリア教育について考えることのできる教材を全学年に掲載している。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○読み物教材では起きた事象が未解決であったり、イラストのみの教材から思考させたり、生徒が課題意識をもって取り組めるようになっている。</p> <p>○学習活動のページで考えさせたり、教材の最後に用意された発問をもとに話し合いをさせたりすることを通して、考えさせ、議論させる工夫をしている。</p> <p><授業者が学習目標達成のために活用できる資料内容とその特徴> ○スポーツや科学、歴史的に活躍した人物を題材にした、生きる勇気や喜びを与える教材を掲載している。</p>
	<p>資 料</p> <p>○年間行事を考慮した教材がある。 ○美しい写真や親しみやすい絵が掲載されている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○教材は内容項目順に並んでおり、四つの視点で題名が色分けされている。目次は四つの視点を色で示し、索引は四つの視点と内容項目毎に分類している。 ○教材文の分量は少ない。注釈が少なく本文のみで理解できるようになっている。漢字は固有名詞には振り仮名を付し、難解な語句は脚注で説明している。</p>
総 括	<p>○内容項目ごとに教材が並んでいる。教材文には主題名は明記されておらず、考えさせる内容のものが配置され、生徒が主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を重視している。対話的な活動につながる答えの出ない題材や、著名人や偉人の伝記や実話を掲載するなど、様々な形式の教材が掲載されている。</p>